

STEP BY STEP

～一步一步確実に～

西陵中学校
第2学年 学年通信
Vol. 7
令和3年8月30日

新学期が始まりました!

●2年生の皆さんへ

夏休みが終わり、今日からいよいよ2学期の始まりです。2学期には体育祭や職場体験学習、文化祭など行事が盛りだくさんです。ただこのコロナ禍。色々我慢を強いられる時期でもあります。まずは一人ひとりが健康に留意し、生活していただきたいと思います。

さて夏休みには大きなイベントがありました。皆さん、テレビ等で東京オリンピックは見ましたか。現在も東京パラリンピックが開催中です。賛否ある中での開催となりましたが、閉塞感がある雰囲気にも明るいニュースを届けてくれたのもオリンピックでした。選手の活躍はもちろん、大会ボランティアスタッフと選手の心温まる話や日本のおもてなし文化や食事を称賛する声。同じ日本に住む人間としてとても誇らしく思いました。参加選手からはSNS等を通じて日本に対し、“Arigato”という言葉がたくさん送られました。

この「ありがとう」という言葉、皆さんはどれ位の頻度で使っていますか。誰かに何かを貰った時、うれしくなるようなことをしてもらった時、困っているところを助けてもらった時など、色々な場面で使いますよね。この「ありがとう」という言葉は、「有り難し」、つまり「有ること」が「難しい(かたい)」という意味で、本来は「滅多にない、珍しくて貴重だ」という意味を表したものだそうです。昨年からのコロナ禍で人との距離が明らかに変わりました。「3密」「ソーシャルディスタンス」という言葉からわかるように、人と身体的に距離を取ることを強いられる、以前のように家族や親せき、友人に会えなくなるなど、今までと必要とされるコミュニケーションが大きく変わりました。コロナ禍の今、ストレスを抱え、イライラを外に向ける人、SNSで他者を攻撃し発散する人も残念ながらいまいます。そんな中でこの「ありがとう」という言葉は、このぎくしゃくした雰囲気を緩和してくれる魔法の言葉ではないでしょうか。

今年3月、菓子メーカーのカンロが「ありがとう」を題材にした素敵な広告を出しました。是非皆さんにも見てもらいたく引用させていただきます。

感謝の言葉は

自粛しないでください。

世の中が変わり在宅時間が増えたことで、家族の絆が深まったという人がいます。

一方で、逆に家族の間に壁ができてしまったという人もいます。

家族もずっと一緒にいたら、

イライラしたり煩わしいと思うのは当然。

そんなストレスを最も解消してくれるもの、それは「ありがとう」という名の糖分です。

もし緊急事態宣言が解除されたとしても、

まだしばらくは、家で過ごす日々が続くでしょう。

けれど、長い人生の中でこれほど

家族と同じ空間、同じ時を共有できる機会はもうないかもしれない。

だからこの非常時を、ぜひ有意義に使ってください。

一言のありがとうと、一粒のキャンディで、

家族の間に生まれそうになる壁を

静かに溶かしながら。

「ありがとう」というたった 5 文字の言葉ですが、感謝や気持ちを家族だけでなく他者に伝えることは、今の暗い社会でお互いに優しく生きるために必要な言葉かもしれません。

●今後の予定について

本日回収予定だったタブレット端末上の宿題に関しては、また別日に回収いたします。またオンライン学習は 10 日までの実施予定ですが、今後変更などが生じた場合、メールにてお知らせしますのでご確認ください。

職場体験学習に関しては、10 月に詳細を決定の上、お知らせします。ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

●保護者の皆様へ

二学期が始まりましたが、コロナウイルス感染拡大に伴い、一定期間オンライン学習の実施となりました。自分では気づかないうちにストレスをため込んでしまっているお子さんもいるかと思えます。先行きの見えない状況に不安を抱えているお子さんもいらっしゃるかもしれません。ご家庭での変化等を確認していただき、お気づきのことがありましたら、学校までご連絡いただけたらと思います。オンライン学習でご不便をおかけすることもあるかと思えますが、ご協力をお願いいたします。